



「子どもたちの成長を願って」

淡路市人権教育研究協議会
東浦支部長

織田 裕行

私は、教育活動推進員として、淡路市放課後子ども教室（以下子ども教室）の運営に携わっています。子ども教室は、子どもたちが放課後等に安心して活動できる場の確保と、児童の健全育成を支援することを目的として、14年前から行われている事業です。工作や体験活動、野外活動など、子どもたちが楽しく活動できるように、各教室で内容を創意工夫しています。子ども教室では、児童は様々な顔を見せてくれます。

ある日、教室の隅に一人で座っているAさんがいました。Aさんに理由を尋ねても答えてくれません。その時、ボランティアの方がAさんの傍に寄り添い、やさしく話しかけてくれました。少し安心したAさんは、活動に参加し始めましたが、表情はまだ固いままでした。しかし、ボランティアの方はずっとAさんの横で話しかけ、一緒に活動することで、Aさんの表情は次第に柔らかくなり、最後には笑顔で活動を終えることができました。

ある日の放課後、子ども教室にやってきたBさんは、いつも一緒に座っている友だちの横にCさんが座っていることに気付くと、急に不機嫌な表情になり、「もう帰る。」と言って、教室を出ようとした。その様子に気付いたCさんは、さつと席を立ち、「Bちゃん、ここに座れよ。」と言って、Bさんに席を譲りました。Bさんは安心した表情になり、最後まで活動に参加しました。子どもたちが安心して活動できるように、互いに認め合い、支え合う受容的な教室環境を大切にしています。

子ども教室では、多くの講師の方からいろんなことを教わったり、子ども同士やボランティアの方々と触れ合ったりする中で、子ども同士のつながり方・かわり方が深まっています。これからも一人ひとりをしっかりと見つめ、温かい心で受け止めながら、子どもたち自身の力で人間関係を築いていけるよう、支援を行っていきたいと思います。

皆さんのおたより



- 淡路市に395名もの外国籍の方が生活されているのは驚きでした。淡路島で沢山の技能を学んで将来に役立てて欲しいと思います。そして淡路島を沢山好きになって欲しいです。(70代)
- 「うちの学校紹介」を拝読してわが母校（岩屋中）ながらすばらしい学校になっていると感動しました。生徒の皆さんの日々の努力と指導してくださっている校長先生をはじめ先生方の岩屋中学校への思いを感じました。ありがとうございます。これからもすばらしい校舎から心やさしい生徒が巣立っていくことを願っています。(60代)
- くらしのトピックス⑭を読んで2045年の高齢化率が40%近くになるとのこと、少しでも長く、元気で動けるよう今から体力づくりを心がけたいです。(50代)

●野球大好き人間です。「兵庫デイオーネ」そして今は「淡路ブレイブオーシャンズ」に熱い声援を送っています。地域おこしの為にがんばってくださいね!! 一生懸命応援していますヨ!! この記事を大切に保管しておきます。これからもうれしい情報を掲載してください。暑さに負けずお仕事がんばってください。(80代)